

研究課題名：

バンコマイシン耐性腸球菌（Vancomycin-resistant Enterococci: VRE）伝播に対する個室隔離やコホート隔離による医接触予防策及び職員コホートの効果

研究の目的と方法：

腸球菌は主に日和見感染症を起こし、術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こすことがある菌で、バンコマイシンに耐性をもつ VRE は治療に難渋することがあります。VRE は 1980 年代前半に欧州で最初に分離され、1990 年代に入り欧州、米国などで急速に拡大し、現在それらの地域では、ICU など分離される腸球菌の 20%以上が VRE と判定されており、問題となっています。

2017 年 6 月に大阪府南部の A 病院から 2 名の VRE 感染症が感染症発生動向調査で届け出られ、保健所や地域の感染対策専門家、大阪健康安全基盤研究所、国立感染症研究所の支援のもと、アウトブレイクがコントロールされました。今事例の中で得られた患者の個室やコホートでの隔離、そして看護チームの関与に関する情報から、周辺患者の VRE 獲得の獲得リスクを計算することにしました。

本研究の結果は、薬剤耐性菌のコントロールに有用な知見をもたらし、社会的意義は非常に大きいと考えられます。研究の成果は学会や学術誌にて発表します。その際にも、対象者の氏名等個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

研究の対象者及び対象期間：

2018 年 1 月から 3 月までの A 病院入院患者が対象です。研究の参加・不参加に関する問い合わせは下記代表者までご連絡ください。

研究期間：

2023 年 4 月 1 日（承認日）～2024 年 3 月 31 日

研究に用いる試料・情報：

既に確認されている VRE 患者との同室、同病棟（同じ看護チームによる看護、別の看護チームによる看護）、別病棟毎の VRE 獲得状況を使用します。これらの情報は個人が特定されないように匿名化されています。

研究組織：

研究全体の管理責任者：

国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター第四室 山岸拓也

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-7-2 飯田橋ブルーノステージビルディング J1601

TEL 03-6261-4865 FAX 03-6261-0189